

ひでお行動

Vol. 32

9月13日

気になっていた沖縄名護市議選、朝5時のニュースで移設反対の候補者が16人当選する事を知る。万歳である。市民の選択に感謝である。この勝利を知事選につないでいきたい。

昨日から天童ホテルで開催されている国土交通省全建設労働組合東北地方支部大会に出席、国土交通省内の河川・道路やダムなどの社会資本の整備、管理の事務所で働く職員で組織している組合であるが、退職補充も少なく組織人員が減少、公共事業のあり方についても真剣に議論している。9時自宅をA運転で出発、まだ1年になっていない車は4万キロになろうとしているので帰りに定期点検。

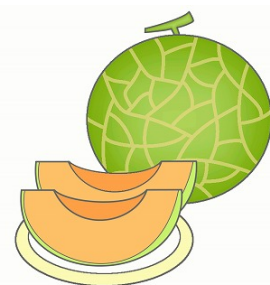
9月14日

今日から16日まで、地元「余目まつり」である。私の町内会が神宿組であるが、都合つかず夜の前夜祭だけの参加である

12時半から私の親睦ゴルフ大会実行委員会、私はゴルフができないが、企業、団体のゴルフ好きな支援者が私の輪を広げる為に開催

してくれる。今年で3回目であるが日程を10月30日と決める。今年も参加者は120名とする。表彰式と懇親会に私は出席する。ありがたい話である。

民主党を二分するような激しい党首選で管総理再選される。他党のことであるので、論評は差し控えるが政治空白はもう作れない。自民党政治からの転換や、小泉構造改革路線とは決別を求めた今年の総選挙、多くの国民の期待を裏切ることにはできない。一日も早く補正予算を組んで景気対策を本腰いれてやるべきである。



9月15日

1便で上京する。お世話になっている砂丘農家の人達と一緒に。今年のメロンはまずまずの成績であり、今、メロンの後に花卉栽培で汗を流しているとの事、大田市場に日帰りで視察、40代の砂丘地農家の担い手である。又、NEC労組の書記長やK工業の社長とも一緒になる。

10時から社民党農林部会の「戸別補償制度関連予算」(概算要求)の意見交換である。省庁から担当企画官はじめ10名説明くる。一生懸命作った米が概算払いで9000円、専業農家(10ha)からは昨年と比して330万円減収、悲鳴があがっている現状を冒頭に述べな

ら意見交換する。来年度から本格実施であるが、これだけ米価が下落している中で、今日の意見交換だけでは(12時半過ぎる)将来の方向性が見えず、再度意見交換することになる。

社民党再建プロジェクト会議3時より開催される。全国各県のデーター含め多くの資料揃う。メンバーの真剣な論議続く。1月まで再建計画を策定する事を確認する。

9月16日

★ 上関原子力発電所NO2

昨夜国会事務所に現地からFAX入る。

「中国電力10日未明から埋め立て工事の準備に入ろうとしたが島民阻止する。しかし、13日から工事を着工すると案内ビラを上関町民に配布。現地として今日昼から山口県知事に対し埋め立て工事中止申し入れ、明日中国電力に抗議申し入れ。」

★ 社民党全国連合常任幹事会

上関原子力の状況報告し、社民党全国連合としての山口県連合と連携し社民党独自の「中国電力申し入れ」検討する。27日28日と1泊2日で福島党首、重野幹事長現地はいる日程を確認する。

昨日の「社民党再建計画」プロジェクト会議を報告し次回常任幹事会まで「一次草案」

に対し文章で各自の考え方を報告する事を確認する。名護市議会議員選挙全員当選報告、県知事選に向けた全国での闘いについて協議する、

★ 「司法修習生給費の存続を求める集会」

全国各地から弁護士、弁護士修習生約2000人参加し、集会、デモ行進、要請行動くり広げられた。シュプレコールで氣勢をあげデモ行進する弁護士達、試験に合格するまで何度も挑戦、やっと合格し修習生として見習いの後、弁護士としてデビュー、今は修習生に国から給費が支払われるが、間もなく打ち切るになる。この事に日弁連として請願行動とってきたが、もう時間がなく、やむにやまれない結起集会である。公明党、共産党、そして社民党は重野幹事長を先頭に、中島、服部、私と衆議員4名応援に駆けつける。



★ 「公団住宅を公共住宅として継続させる要求集会」

公団住宅が事業仕分けにより、売却、削減、家賃値上げなどを提起し、76万戸、200万の暮らしを脅かしてきている。団地では高齢化が急速に進み、ほとんどの人達が住み続けたいと切望している。半世紀にわたって築きあげられたコミュニティー、団地管理のノウハウそして地域づくりは、かけがえない財産です。民主党、自民党、公明党、共産党揃って公団住宅を守る決意を表明する。福島党首に代わって党を代表し、「衣・食・住は暮らしの柱」先頭に立って戦い抜く決意を述べる。



昼には山形県補正予算説明を県の総務部長から、先日ベトナム3カ国調査で随同行した事務局と打ち合わせ、21日の労働組合懇談会の進め方打ち合わせと続いた。明日からの日程で新幹線で帰省

9月17日

地方政党「大阪維新の会」は自民党を離党した40人の議員を来春の統一地方選で公認候補とする事とした。88人のうち40人も離党

された自民党大阪府蓮、自民党では当選できないから離党して当選できる道へ、誰かさんと同じように映るのは私だけかな・・・

山形1区鹿野代議士が農林水産大臣に入閣、山形、東北の事を熟知している鹿野大臣に期待したいと思うのだが・・・

10時より私鉄庄内交通労働組合定期大会

東北管内で私鉄総連に加盟している地方バス労組は地元庄内交通労組はじめ12労組である。少子高齢、過疎化、マイカー、規制緩和等、路線バス廃止等により、築きあげてきた地域交通ネットワークが崩壊しようとしている。加えて、ツアーバス会社（キララ、オリオン、ウイラー等）が東京便参入し、価格競争が激化し厳しい労働条件が強いられている。そうした中でしわ寄せが組合員に来ても東北管内の12労組が一枚岩になって「住民の足」を守るために頑張っている。この間社民党として「交通基本法」制定に向けた取り組みを強化してきているが、他政党働きかけ

早急に成立させていかなければならない。



14時より全労働定期大会

宮城県松島で昨日から開催されている。ハローワークや労働基準局等で働いている職員の組合であるが初めて参加する。「小指の痛み」

を全身で感じながら「団結をひとみのように大切にする。」歴史と伝統を受け継ぎ信頼に裏打ちされた運動を求めて。労働行政の問題を自らの課題として頑張っている。委員長と大会前に国会で意見交換しており、挨拶後近日中に懇談会を約束する。

今日はAから鶴岡ー松島ー仙台と運転して頂き、社民党福島県連合委員会出席の為、福島まで行く予定であったが、仙台国分町に新しい「宿泊サウナ」が出来たので、そこに泊まる。東北ブロック事務局長と「再建計画」などについて意見交換

9月18日

尖閣諸島沖でおきた漁船衝突事件で、2億5千万もの損額を持ち1万人「訪日旅行」を中止するという中国食品メーカー、ガス田の鉱業権をめぐる問題と絡んで大きな問題として発展する危険性を含んでいる。

車では1時間以上要するので、Aを仙台において福島まで新幹線で向かう。社民党福島県連合「県委員会」に出席。参議院選挙総括と統一地方選挙方針が主な議題である。福島県連は組織を大事にしながら丁寧な運動を積み重ねている。最後まで出席し討論を聞いたかったが3時から山形で会議があるので昼食ご馳走になる退席する。新幹線で仙台まで戻りAの車で山形に向かう。「全農林党員協議会総会」で挨拶し、ケーブルテレビ山形で30日企画している地

域主権をテーマにした討論会の打ち合わせに入る。自宅に戻るのが8時過ぎるので途中夕食食べようとしたが電話入り夕食準備なっているとの事、ありがたい。感謝である。

9月19日

明日の敬老の日を前に鮭川村敬老会、10時開会にギリギリ間に合う。中央公民館ホールに畳を敷き今年から椅子を用意されていた。昨年までとは違い、事務局の参加者に対するやさしい心づかいに敬意を表す。葬儀に参列できなかった叔父さんにお詫びしながら別れを言う。その後酒田市立病院に入院している事務局のK氏にお見舞い。10月よりすべて日本海病院に移転するので病室はガラガラである。病院の跡地は老人ホーム予定されている。久しぶりに夜自宅でゆっくりする。

